

働き方改革相談業務の強化【新潟県長岡市】

個別事業費

2,136 千円

交付金額

704 千円

地域の実情と課題

- 人口減少や進学等を理由とする転出により労働人口が減少しており、多くの中小企業で人材不足が生じている。
- その改善のためには、多様な働き方が可能な職場環境を整備し、限られた人材を有効活用していくことや、働きやすい環境が整備された企業を積極的にPRしながら、若者の地元就職やUターン就職を進めていく必要がある。

事業の特徴

- 市と産業界が一体となって働き方改革を推進する「ながおか働き方プラス応援プロジェクト(通称:はたプラ)」を通して、女性活躍も含めた多様で柔軟な働き方ができる職場づくりを推進。
- 働き方改革相談員が市内企業を訪問し、「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」の趣旨を説明し、働きやすい職場環境づくりの意識啓発を行う。
- はたプラ賛同企業の中から優れた活動を行う企業を顕彰する「はたプラチナ賞」制度を通じた、賛同企業への横展開及び継続的な取り組みの促進。

事業の効果

- 相談員が市内企業を132件訪問し、企業独自で抱える課題や働き方改革の進捗状況を把握することができたほか、企業の悩みに応じた国の支援制度の紹介、他企業の事例を交えたアドバイスを行い、きめ細やかな相談を実施することができた。
- 企業の悩みに応じ、個別研修会の実施や勉強会への参加につながった事例もあり、職場環境改善に向けた意識啓発を行うことができた。

目的・目標

- 企業の働きやすい職場づくりへの取り組みを支援するとともに、WLBが実現できるまちづくりを進めることにより、長岡市で働く魅力を高め、人口減少や労働力不足の解消につなげる。

《目標》

《実績》

・相談員の企業訪問件数 170件 ⇒ 132件

連携団体

- 長岡市女性活躍推進会議
＜構成機関＞長岡公共職業安定所、長岡労働基準監督署、長岡地域振興局企画振興部労政課、一般社団法人日本産業力ounセラ協会 上信越支部、日本労働組合総連合会新潟県連合会中越地域協議会、長岡商工会議所、長岡技術科学大学、長岡市男女平等推進センターウィルながおかパートナー
- 新潟県
- (公財)にいがた産業創造機構

今後の課題

- 企業の働き方改革・意識改革を進めていくためには、総務・人事担当者だけでなく、管理職・経営層への働きかけが必要である。
- 今回新たに創設した「はたプラチナ賞」表彰制度は、会社の取り組みを表彰することで、経営層へ働き方改革の重要性を伝え、意識醸成をすることができたため、相談員のきめ細やかな相談体制と合わせて、働き方改革の取り組みが、人材採用・定着につながることを積極的に発信し、企業の意識向上と取り組み促進を一層強化する。

働き方改革相談業務の強化

◆働き方改革相談員による企業訪問◆

働き方改革相談員が企業訪問を行い、「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」の趣旨を説明しながら、男女問わず活躍できる働きやすい職場環境づくりの意識啓発を行う。

また、働き方改革に関して企業が抱えている課題のヒアリングやそれに対するアドバイス、優良事例の紹介等により、職場環境の改善につなげる。

《企業訪問件数》 132件

【参考】

令和5年度はたプラ賛同企業数291社（令和5年度新規賛同企業数78社）

◆「はたプラチナ賞取組事例集」の配付◆

令和5年度に創設した「はたプラチナ賞」において、

- ①業務見直し等により効率的に働く職場の実現
 - ②女性が働きやすい職場環境づくり
- の2テーマで取り組みを募集し、受賞した4社の取り組みを紹介する「はたプラチナ賞取組事例集」を活用し、賛同企業に向けて優良事例の横展開に取り組む。



▲「はたプラチナ賞取組事例集」